

## よくある質問(FAQ)

### Trucost

#### はじめに

本資料では、Trucostに関する一般的な質問をまとめ、それに対する回答を示しています。Trucostは、S&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズなどのグローバル市場指数に対して炭素排出量に関する情報を提供するデータ・プロバイダーです。具体的には、指数構築プロセスの一環として採用されている Trucost のリサーチ方法や、データ収集の範囲、環境に関する質問に対して回答します。環境・社会・ガバナンス(ESG)の課題について、投資家が企業に対するエンゲージメント活動を行うことにより、株主価値を創造できる可能性があることを示す証拠が増えています。世界全体で 14,000 社以上をカバーしている世界有数の環境データ・プロバイダーとして、Trucost はこのミッションの最前線にあり、企業の環境パフォーマンスに関する詳細かつ包括的な視点を通じて持続可能な価値創造に関する情報を提供しています。

1. **Trucost とは何か？** Trucost は S&P グローバルの一部門であり、炭素排出量や環境に関するデータ及びリスク分析を提供する大手調査会社です。Trucost は気候変動や天然資源の制約、広範な環境・社会・ガバナンス(ESG)要因に関連するリスクを評価しています。企業や金融機関は Trucost のサービスを活用することで、これらの要因への ESG エクスポートを理解し、企業の回復力を査定し、持続可能な発展に向けた変革的なソリューションを生み出すことができます。
2. **「Trucost エンバイロメンタル・レジスター」とは何ですか？** Trucost の「エンバイロメンタル・レジスター」とは、企業の直接的な環境負荷とサプライチェーン全体における環境負荷に関する情報を収録しているデータベースです。このデータベースでは 14,000 社以上の情報を管理しており、世界の時価総額の 99%をカバーしています。Trucost では企業の開示情報を利用し、各社の環境負荷に関する情報を毎年アップデートしています。企業の開示情報に不備がある場合には、モデル・データなども併用してアップデートを行います。このデータベースでは、炭素排出量やその他の汚染物質、水への依存度、資源効率、廃棄物処理など数百件もの環境に関する課題をカバーしています。Trucost エンバイロメンタル・レジスターに関する詳しい情報については、「Trucost Environmental Register Methodology FAQs」を参照ください。

#### リサーチ・プロセスに関する質問

1. **Trucost は企業からどのようなデータを収集していますか？** Trucost は、企業の温室効果ガス(GHG)排出量、水利用、汚染物質による影響、廃棄物処理などに関するパフォーマンス・データや開示指標などの環境データを収集しています。また、企業の事業活動に関する情報も収集します。

2. **Trucost はデータ収集プロセスにおいてどのような情報源を使用していますか？** Trucost では、公に開示されている情報を使用しています。例えば、企業の財務報告書（年次報告書、財務諸表、10-K/20-F 報告書、米証券取引委員会（SEC）/規制当局への届出書類）、環境データの情報源（企業の社会的責任（CSR）、サステナビリティ・レポートまたは環境レポート、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）、米環境保護庁（EPA）への届出書類）、及び企業のウェブサイトまたは公的ソースで公表されているデータなどを使用しています。
3. **開示が十分でない場合、Trucost では企業の環境負荷をどのようにモデル化していますか？** Trucost の「環境を含めたインプット・アウトプット（EEIO）モデル」では、業界固有の環境負荷データと、経済におけるさまざまなセクター間のモノやサービスのフローに関する定量的なマクロ経済データを組み合わせます。EEIO モデルを通じて、企業の事業活動による環境負荷だけでなく、グローバルなサプライチェーン全体にわたる環境負荷も見積もることが可能となります。Trucost のモデルでは、システム内の 464 社のそれぞれのビジネス活動について、売上高百万ドル当たりの環境負荷を算出します。これにより、企業のビジネス活動の中で最も大きな環境負荷を予想することが可能です。
4. **このデータをどのくらいの頻度でアップデートしていますか？** Trucost では、報告された環境データを企業の年次財務報告書と照合するために、企業評価書を毎年作成しています。Trucost のリサーチ・プロセスは継続的なものであるため、企業が情報を開示する度に、その都度修正を行い、品質チェック、エンゲージメント、及びデータ検証などのステップも完了します。一般に、企業データの修正がデータにおいて考慮されることはありませんが、開示においてエラー訂正が提供されるケースは例外となります。ただし、企業のデータ開示が、以前の会計年度（時系列のパフォーマンス）に関して有益な情報を有していることはよくあります。これにより、Trucost は評価を精緻化するか、または以前に見積もった価値に代えて前年の開示価値を採用することが可能です。
5. **当社に関して収集されたデータをどのように検証することができますか？** Trucost のセクター専門のアナリストが企業データをレビューし、その後、その会社の環境プロフィールが Trucost のオンライン・ポータルで閲覧可能となります。Trucost はデータ検証のために企業から回答を求めています。また、企業が精緻なデータ、追加データ、または公になっていないデータを提供できるよう、直接エンゲージメントを行う場合もあります。Trucost はこのプロセスからの追加データが有益であると見なした場合、そのデータについて品質チェックを行い、これらのデータを分析に組み込みます。
6. **当社に関して収集されたデータを変更することができますか？** データ検証プロセスの途中でも、貴方の会社に関して収集されたデータをレビューし、修正することが可能です（質問 5 に対する回答をご覧ください）。
7. **Trucost に対して非公式に情報を提供した場合、その情報は公になりますか？** Trucost に対して非公式に提供される全ての企業情報は、公に利用可能な情報源から収集される情報と同じ方法で取り扱われます。非公式に提供された情報が貴社に関する Trucost のリサーチに組み込まれた場合、Trucost データ・サービスの利用者はそれを利用することが可能です。企業により直接提供されるデータは、ユーザーがデータフィールドの情報源を理解できるように印が付けられます。

8. データ収集及びモデル化プロセスを詳しく知るにはどうすればよいですか？ Trucost のデータ収集及びモデル化プロセスに関する詳細については、[trucostinfo@spglobal.com](mailto:trucostinfo@spglobal.com) 宛てにお問い合わせください。

## 具体的なコンセプト

9. 「炭素効率性」指標とは何ですか？「炭素効率性」は、温室効果ガス(GHG)排出量(例えば、二酸化炭素換算トン(tCO<sub>2</sub>e))を別のデータ・ポイント(正規化ファクター)で表示する指標です。Trucost の標準指標(おそらく最も広く使用されている炭素効率性の指標)は、企業の年間連結売上高百万ドル当たりの排出量を表示します(tCO<sub>2</sub>e/売上高百万ドル当たり)。炭素効率性は、さまざまなセクター内及びセクター全体にわたり企業を比較する上で有益な指標です。炭素効率性は、企業の特長(規模など)に対するコントロールとして機能するため、企業の炭素効率性を評価することが可能となります。
10. なぜ売上高を使って炭素効率性を算出するのですか？温室効果ガス(GHG)は、企業の直接的及び間接的な事業活動により生み出されます。したがって、適切な正規化ファクターも、直接的及び間接的な事業活動と相関関係にあり、企業の炭素効率性を反映すると考えられます。企業の売上高は、少なくともセクター内では事業規模と強い相関関係があると思われるため、売上高は、炭素効率性に関する市場標準の正規化ファクターになっています。

炭素効率性の指標と企業の財務実績を関連付けて考慮することにより、GHG 排出量と財務リスクの関係を理解し始めることが可能になります。売上高百万ドル当たりの tCO<sub>2</sub>e 指標は、企業が単位売上高当たりどれだけの温室効果ガス(GHG)を排出しているかを示します。

11. 「直接的排出量」及び「最上位の間接的排出量」とは何ですか、また、GHG プロトコルのスコープ 1、2、及び 3 とはどのように異なるのですか？直接的排出量及び最上位の間接的排出量とは、Trucost のデフォルト排出量範囲です。これは GHG プロトコルのスコープ 1 及び 2 とはやや異なります。

スコープ 1 排出量は、企業が所有する、またはコントロールしている排出源から直接排出されるものです。例えばスコープ 1 には、トラック会社が所有するトラック車両の内燃機関により生み出される排出量などが含まれます。

スコープ 2 排出量は、購入される電力、蒸気、または企業の直接的な事業活動の上流部門で生成されるその他のエネルギー源の消費に伴うものです。

スコープ 3 には、企業が直接所有していない、またはコントロールしていない事業活動に関連するその他全ての排出量が含まれます。したがって、スコープ 3 排出量には、企業のサプライチェーンや、企業が保有するまたはコントロールしている事業活動による下流部門における間接的な排出量に係わるいくつかの排出源が含まれます(例えば、自動車メーカーにより製造されるトラックの運転など、企業による製品またはサービスの使用中の段階からの排出量など)。こうした定義により、スコープ 3 排出量は、企業の排出量フットプリントの最大量を占めます。

Trucost では、GHG プロトコルのスコープ 1 排出量と、企業の事業活動に関連する幅広い範囲の GHG から生じるその他の排出量を合わせたものを「直接的排出量」と定義しています。

「最上位の間接的排出量」とは、GHG プロトコルのスコープ 2 排出量と、企業における最上位上流部門のサプライチェーン(直接的なサプライヤー)の排出量を合わせたものと定義されています。こうした範囲強化の目的は、企業が最も深い関係にある上流部門のスコープ 3 排出量の一部を含める一方で、排出量のダブルカウントの程度を抑えることです。Trucost のデータベースにおける企業の上流部門のサプライチェーンの排出量は、EEIO モデルを使って算出されます。

## 追加の質問

12. Trucost や炭素データに関して詳細を知りたい場合、どこに問い合わせればよいですか？ Trucost やデータに関する詳細については、[trucostinfo@spglobal.com](mailto:trucostinfo@spglobal.com) 宛てにお問い合わせください。

## DISCLAIMER

Copyright © 2018 S&P Trucost Limited (“Trucost”), an affiliate of S&P Dow Jones Indices LLC. All rights reserved.

This publication and related materials are not intended to provide and do not constitute financial or investment advice. The information in this publication should not be construed or relied upon in making, or refraining from making, any investment decisions with respect to a specific company or security or be used as legal advice. Trucost is not an investment advisor, and Trucost makes no representation regarding the advisability of investing in any investment fund or other investment vehicle. A decision to invest in any investment fund or other investment vehicle should not be made in reliance on any of the statements set forth in this document.

This publication and related materials (“Information”) have been prepared solely for informational purposes only based upon information generally available to the public from sources believed to be reliable. The Information may not be reproduced or disseminated in whole or in part without the prior written permission of Trucost. The information may not be used to verify or correct other data, create indexes, risk models, or analytics or in connection with issuing, offering, sponsoring, managing, marketing any securities, portfolios, financial products, or other investment vehicles.

Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance, analysis, forecast or prediction.

Trucost, its affiliates, or its and their third-party data providers and licensors (collectively “Trucost Parties”) do not guarantee the accuracy or completeness of the Information. Trucost Parties are not responsible for any errors or omissions, regardless of the cause, for the results obtained from the use of the Information. THE TRUCOST PARTIES MAKE NO WARRANTIES OR REPRESENTATIONS, AND, TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, EACH TRUCOST PARTY HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING WARRANTIES OR MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING AND TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, IN NO EVENT SHALL ANY OF THE TRUCOST PARTIES HAVE ANY LIABILITY REGARDING ANY OF THE INFORMATION FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, PUNITIVE, CONSEQUENTIAL (INCLUDING LOST PROFITS) OR AN OTHER DAMAGES EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. The foregoing shall not exclude or limit any liability that may not by applicable law be excluded or limited.

‘Trucost’ is the trading name of S&P Trucost Limited a limited company registered in England company number 3929223 whose registered office is at 20 Canada Square, London E14 5HL, UK.